

皇太子殿下御誕生ニ際シ御下賜金ニ
關スル件記録

皇太子殿下御誕生ニ際シ本邦兒童及母性
ニ對スル教化並ニ養護ニ關スル諸施設ノ
資トシテ昭和九年二月二十三日宮中御饗宴
當日ヲ期シ金七拾五萬圓下賜ノ御沙汰アリ、
其ノ次第凡ソ左ノ如シ。

宮中

内

閣

一、昭和九年二月二十三日午前十時四十分齋藤
内閣總理大臣病氣引籠中、爲山本内務大臣
代理トシテ參内ス。

一、同十時五十分侍從職休所ニ於テ湯淺宮内大臣
ヨリ左ノ御沙汰書及口達書、傳達ヲ受ク。

皇太子殿下御誕生ニ際シ本邦兒童及母性
ニ對スル教化並ニ養護ニ關スル諸施設資
トシテ金七拾五萬圓下賜候旨御沙汰アラ
セラレ候

昭和九年 二月二十三日

宮内大臣 湯淺倉平

内閣

内閣總理大臣子爵齋藤 實殿

文部大臣ニ於テ内務大臣ト協議、上速ニ
御下賜金ヲ以テ財團法人ヲ設立シ其ノ活
動ノ十全ヲ圖リ以テ普ク
聖旨ノ徹底方ニ關シ適當ノ措置ヲ講ス
ル様致シ度キコト

内
閣

一、同十一時 山本内務大臣 拝謁 御沙汰 拝受ノ
御禮ヲ言上シ退下ス。

言上ノ要旨左ノ如シ

只今優渥ナル御沙汰ヲ拝シ恐懼感激ニ
堪エマセ又厚ク御禮申上マス本日ハ總理大
臣病氣引籠中ノ爲代理トシテ罷出マシタガ

内閣

早速總理大臣ニ報告ノ上關係大臣協議シ

マシテ 御聖旨ニ副ヒ奉ル様適切ナル施

設ヲ致ス心算デゴザイマス

一、同十一時 堀切内閣書記官長 宮内省ニ出頭シ
鹿兒島總務課長ヨリ 金七拾五萬圓ノ小切手ヲ
受領シ、直ニ山本内務大臣ヲ私邸ニ訪ヒ、内務
大臣ヨリ 御沙汰書及口達書ヲ受ケ、更ニ齋藤

内閣總理大臣私邸ニ赴キ詳細報告ス。

一 同十一時半 栗屋文部次官ヲ首相官邸ニ招致
シオキタリシガ、同十一時五十分堀切書記官長首
相官邸ニ歸リ、同次官ニ御沙汰書、口達書
ヲ披見セシメ、金七拾五萬圓ノ小切手ヲ手交ヌ。

一 午後四時 貴族院内 内閣總理大臣室ニ山本内務

内閣

大臣、鳩山文部大臣、永井拓務大臣、堀切内閣書
記官長、栗屋文部次官參集、書記官長ヨリ
御沙汰書、口達書、寫ヲ三大臣ニ手交シ(文部大臣
ニ通)
聖旨ニ從ヒ財團法人設立ニ付協議ス。

一 二月二十四日 午前十時横溝總務課長宮内省ニ
出頭 金七拾五萬圓ノ拝受證ヲ鹿兒島總務課長
ニ手交ス。

皇太子殿下御誕生ニ際シ

本邦兒童及母性ニ對スル

教化并ニ養護ニ關スル諸

施設ノ資トシテ

金七拾五萬圓下賜候旨

御沙汰アラセラレ候

昭和九年二月二十三日

金七拾五萬圓下賜候旨

御沙汰アラセウレ候

昭和九年二月二十三日

宮内大臣 湯淺倉平

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

118

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

118

宮内大臣湯淺倉平

2/2

裏面白紙

文部大臣ニ於テ内務大臣ト協議ノ
上速ニ御下賜金ヲ以テ財團法人ヲ
設立シ其ノ活動ノ十全ヲ圖リ以テ
普ク
聖旨ノ徹底方ニ關シ適當ノ措置ヲ
講スル様致シ度キコト

宮内省

口
達

裏
面
白
紙

三
79
尾

文 部 省

恩賜財團愛育會設立經過概要

昭和九年二月二十三日皇太子殿下御降誕御祝宴當日内閣總理大臣ニ賜リタル御沙汰ノ趣旨ヲ奉體シ御下賜金ヲ以テ本邦兒童及母性ノ教化並ニ養護ニ關スル諸施設ヲ講ズルヲ目的トスル恩賜財團愛育會ノ設立ニ至ル經過ノ概略左ノ如シ、

一、二月二十四日午後三時ヨリ、文部大臣官舎ニ於テ恩賜財團設立ニ關スル第一回協議會ヲ開キ名稱及寄附行爲殊ニ法人ノ目的タル事業ノ内容ニ關シ種々協議ヲナシタリ、當日ノ出席者左ノ如シ、

- | | | | |
|---------|-------|------------|-------|
| 官内省總務課長 | 鹿兒島虎雄 | 内務省社會局社會部長 | 富田愛次郎 |
| 文部次官 | 栗屋 謙 | 文部省社會教育局長 | 關屋龍吉 |
| 拓務次官 | 河田 烈 | 拓務省管理局長 | 生駒高常 |
- 三、二月二十七日文部省社會教育局長室ニ第二回協議會ヲ開ク、同協議會ニ於テハ前回ニ引續キ寄附行爲ヲ審議シ、殊ニ總裁トシテ皇族推

裏面白紙

文 部 省

戴ノ件ヲ官内省ニ願出ヅルコト、及ビ名稱ヲ恩賜財團愛育會ト爲ス
コトヲ決定シ、別紙添付ノ如キ内容ヲ以テ文部、内務兩大臣ニ法人
設立許可願ヲ提出スルコト、ナシタリ、
當日ノ出席者左ノ如シ、

鹿兒島虎雄

丹羽七郎

富田愛次郎

武部欽一

關屋龍吉

生駒高常

右ニ基キ三月八日付ヲ以テ別紙添付ノ如キ設立許可申請書ヲ設立者
子爵齋藤實ヨリ文部、内務兩大臣宛ニ提出シタリ、

三、

法人設立許可願ヲ提出シタルニ付テハ、設立許可ニ伴フ諸般ノ事項
ヲ協議スル必要アリタルヲ以テ三月十一日午前十時文部省第二會議
室ニ於テ第三回協議會ヲ開催シタリ、當日理事長ニ關屋貞三郎常務
理事ニ齋藤守園就任スルコトニ決定シタリ、

裏面白紙

文 部 省

出席者左ノ如シ、

關屋貞三郎

齋藤守園

鹿兒島虎雄

丹羽七郎

富田愛次郎

生駒高常

武部欽一

關屋龍吉

四

昭和九年三月十三日付東社一四號ヲ以テ恩賜財團愛育會ノ設立許可
アリタルヲ以テ三月貳拾四日法人設立ノ登記ヲ了シタリ、

裏面白紙

省 部 文



東社一四號

昭和九年三月八日付申請恩賜財團愛育會設立ノ件民法第三十四條ニ依
リ許可ス
昭和九年三月十三日

東京市四谷區仲町三丁目四番地
恩賜財團愛育會設立者
子爵 齋 藤 實

文 部 大 臣 子爵 齋 藤 實

内 務 大 臣 男爵 山 本 達 雄

裏 面 白 紙



文 部 省

戊學第一八二七號

昭和九年三月九日

東京府知事 香坂昌康

文部大臣 子爵 齋藤 實 殿
内務大臣 男爵 山本 達 雄 殿

法人設立許可ニ關スル件

別紙ノ通り設立者子爵齋藤實ヨリ恩賜財團愛育會設立許可申請有之調
査候處適當ナルモノト認メラレ候條御許可相成度候也

裏面白紙

財団法人設立許可申請書

昭和九年二月二十三日内閣總理大臣ニ賜ハリタル御沙汰ノ趣旨ヲ
奉體シ恩賜財團愛育會ヲ設立致シ度ク候ニ付必要書類相添ヘ民法
第三十四條ニ依リ此段及申請候也

昭和九年三月八日

四谷區仲町三丁目四四番地
設立者 子爵 齋 藤 實

文部大臣 子爵 齋 藤 實 殿
内務大臣 男爵 山 本 達 雄 殿

恩賜財團 愛育會 寄附行爲

第一章 名稱

第一條 本會ハ恩賜財團愛育會ト稱ス

第二章 目的及事業

第二條 本會ハ昭和九年二月二十三日内閣總理大臣ニ賜ハリタル御沙汰ノ趣旨ヲ奉體シ本邦兒童及母性ノ教化並ニ養護ニ關スル諸施設ヲ講スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 乳幼兒及兒童ノ保育養護並ニ教化ニ關スル調査研究指導
 - 二 兒童ニ對スル社會教育的施設
 - 三 母性教育及家庭教育ニ關スル施設
 - 四 兒童ノ養護ニ關スル施設
 - 五 兒童愛護思想ノ普及
 - 六 其ノ他兒童及母性ノ福祉ヲ増進スヘキ諸施設
- 第三章 事務所

第四條 本會ハ事務所ヲ當分ノ内東京市麹町區三年町一番地ニ置ク

第四章 資産及會計

第五條 本會ノ資産ハ左ノモノヨリ成ル

- 一 御下賜金
- 二 一般特志者ノ寄附金其ノ他ノ收入

第六條 前條第一號ノ資産ハ之ヲ基本財産トス

基本財産ハ之ヲ永遠ニ保存スルモノトス

第七條 決算剩餘金及特ニ使途ノ指定ナキ寄附物件ハ評議員會ノ議決ヲ經テ之ヲ基本財産ニ繰リ入ルルコトヲ得

第八條 本會ノ資産ハ理事長之ヲ管理シ其ノ管理方法ハ理事會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 本會ノ經費ハ基本財産ヨリ生スル果實、補助金、寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 本會ノ豫算ハ毎年度開始前評議員會ニ於テ之ヲ定メ決算ハ年度終了後三ヶ月以内ニ其ノ認定ニ附スルモノトス

第十一條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第五章 總裁會長顧問

第十二條 本會ニ

總裁 一名

會長 一名

顧問 若干名

ヲ置ク

第十三條 總裁ニハ皇族ヲ推戴ス

第十四條 會長ハ總裁之ヲ依囑ス

第十五條 顧問ハ總裁之ヲ依囑ス

顧問ハ會長ノ諮問ニ應フ

第六章 役員

第十六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、理事 二十名以内

二、監事 若干名

三、評議員 若干名

第十七條 理事ハ理事長一名常務理事若干名ヲ互選シ總裁之ヲ依囑ス

理事長ハ本會ヲ代表シ事務ヲ統轄ス

常務理事ハ常務ヲ掌理シ理事長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十八條 理事及監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ選舉シ總裁之ヲ依囑ス

第十九條 評議員ハ總裁之ヲ依囑ス

評議員ハ評議員會ヲ組織シ本寄附行爲ニ特別ノ定アルモノ、

外本會ノ重要事項ヲ審議ス

第二十條 役員ノ任期ハ四年トス但シ重任ヲ妨ケス

役員補缺者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第七章 會議

第二十一條 理事會ハ必要ニ應シ理事長之ヲ召集ス

理事會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

議事ハ理事三分ノ一以上出席シ出席理事ノ過半数ヲ以テ之

ヲ決ス

第二十二條 評議員會ハ必要ニ應シ理事長之ヲ召集ス

評議員會ノ議長ハ理事長之ニ當ル

議事ハ評議員五分ノ一以上出席シ出席評議員ノ過半数ヲ以テ決
ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第八章 附則

第二十三條 本會附行爲ハ評議員總數三分ノ二以上ノ同意ヲ經主務官廳ノ
認可ヲ得テ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十四條 本會設立當初ノ理事ハ左ノ通りトシ第十三條ニ依ル理事長就
任ニ至ルマテノ間其ノ職ヲ行フヘキ理事ヲ互選スルモノトス

生 駒 高 常

丹 羽 七 郎

富 田 愛 次 郎

齋 藤 守 園

鹿 兒 島 虎 雄

武 部 欽 一

關 屋 龍 吉

關 屋 貞 三 郎

恩賜
財團愛育會設立ノ爲御下賜金交附方

昭和九年二月二十三日本大臣ニ賜ハリタル御沙汰ノ趣旨ヲ奉體シ本邦兒童及母性ノ教化並養護ニ關スル諸施設ヲ講スルヲ以テ目的トスル恩賜財團愛育會設立ノ爲御下賜金七拾五萬圓ヲ左記名ニ交附ス

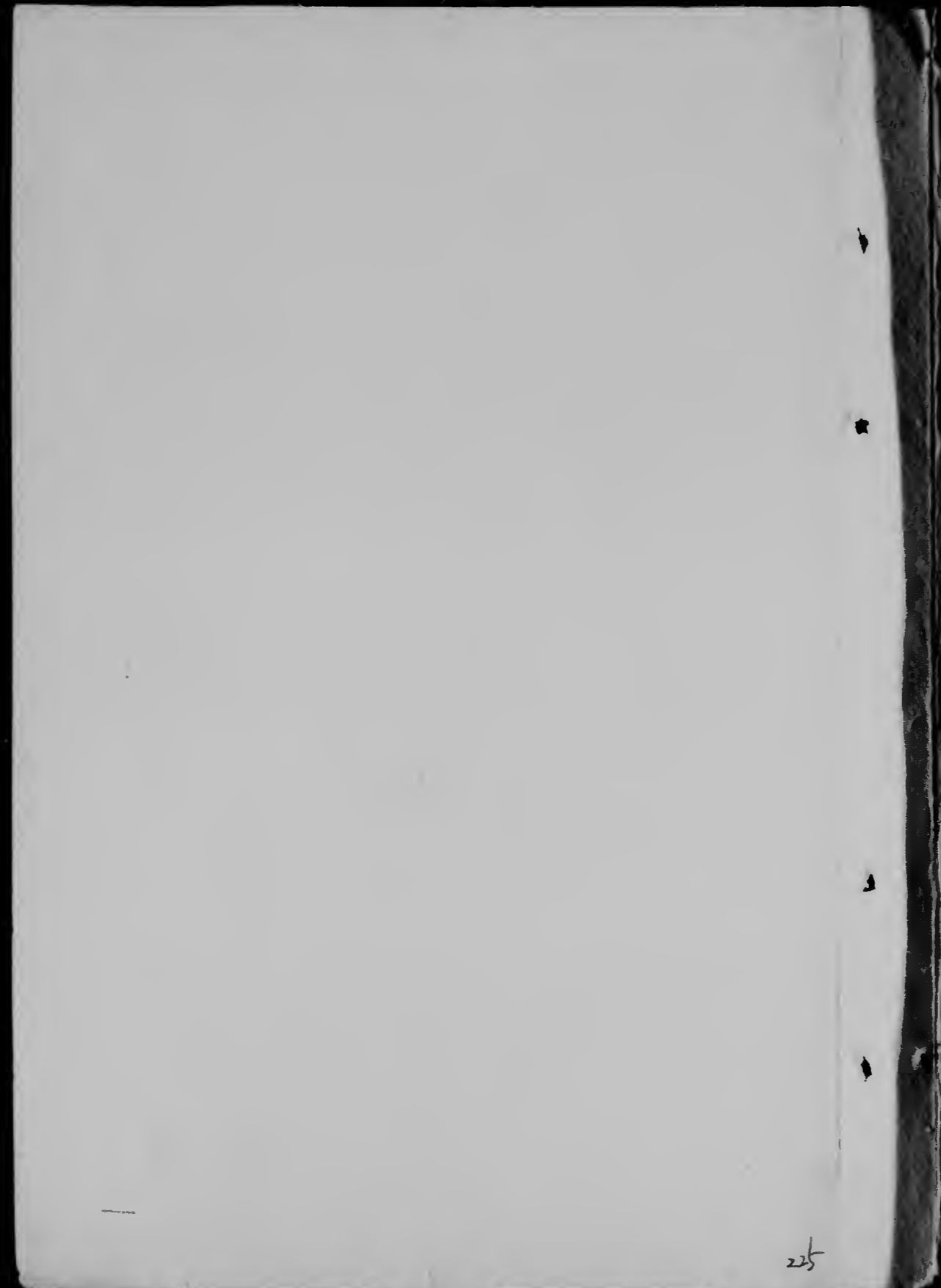
記

東京市四谷區仲町三丁目四四番地

子爵 齋 藤 實

昭和九年三月三日

内閣總理大臣 子爵 齋 藤 實



225

